

令和6年度 特別企画展会場設営業務 内容概要書

【コンセプト】

マンボウは海水魚の中でもその見た目から非常にポピュラーな生物である。そして、さまざまな噂話があるが、その大半は誤った情報である。海響館では長年マンボウを飼育して、その魅力や情報を発信してきたが未だに正しい情報は伝えきれていない。今回の企画展では“マンボウ”とは実際どのような生き物なのかを楽しく学んで頂くことを狙いとしている。マンボウを愛するラッパーに扮したスタッフを登場させ、面白おかしく解説を行う。展示全体の雰囲気としてラッパーを連想させるものとする。

【業務内容】

上記コンセプトを理解したうえで、1階イベントホールを会場としてレイアウト及びデザインを提案し、設営を行うこと。加えてタイトルロゴマークデザイン、並びに集客に効果的かつ魅力的な具体策を提案すること。

【タイトル】

大マンボウ展（仮）

【ターゲット】

小学生以上

【衣装】

甲にて用意

【イベントホール展示ゾーンの詳細】

水槽や各機器にはメンテナンスのできるスペースを設けること。

イベントホールエントランス

会場出入口看板及び造作を施すこと。出入口はイルカアクリル面前とキッズコーナー側の扉を使用し、左右の扉は造作物で隠す。造作物はマンボウの展示である事がひと目で分かる物とすること。イルカアクリル面前の通路（天井高さ3000mm）ではプロジェクター（甲にて用意）を用いてスクリーンにラッパーの動画（甲にて用意）を流し、導入として数種類のマンボウの短い動画（甲にて用意）をモニター（甲にて用意）にて流す。モニターの大きさについては動画の解像度が関係するため甲と協議の上、決定する。

○マンボウ、結構頑丈（動画及びイラスト解説、ハンズオン）

内容：すぐに死んでしまうという噂話が多いが、実際はそのようなことはないと言うことをパネルと動画（甲にて用意）を用いて伝える。

展示物：

動画解説：ラッパーが噂話について言及する動画（甲にて用意）をながす。32 インチ程度のモニター1台（甲にて用意）。

ハンズオン：4コママンガを使って、マンボウに関する噂を3種類程度検証していく。マンガ自体のイラストは甲にて用意する。めくりパネルなどで来館者がアクションを行うとモニター（甲にて用意）が見れるような仕組みにする。

○マンボウの構造（イラスト解説、ハンズオン、生体及び標本展示）

- 内容：**
1. フグ目魚類の一覧を掲示しフグの仲間であることを紹介する。鰓孔の形状や腹びれや肋骨が無いことなどの共通点を示す。
 2. 水槽を用いてフグ目とスズキ目魚類の比較を行う。またマンボウには尾鰭が無いことも紹介する。
 3. フグ目は背鰭と臀鰭を使って泳いでいることを紹介する。

展示物：

- ・ハンズオン：マンボウとスズキ目魚類の泳ぎ方がわかる展示を製作すること。例えばスキャニメーションのような展示を想定。
- ・標本展示：骨格標本（50cm程度×2個）を展示するための台を製作・納品すること。標本台はできるだけ自由な角度から標本を観察可能な構造とすること。標本自体の損壊を防ぐため標本には直接触れられない仕組みとすること。

生物：フグ目魚類とスズキ目魚類、1200×900 mm ユニット水槽1基（甲にて用意：水槽台は不要）。

備考：水槽の背面にも解説パネルの設置は可能。

○マンボウは何トン？（イラスト・動画解説、ハンズオン）

内容：マンボウ目魚類5種実物大の大きさを感じてもらおう展示を行う。

展示物：

- ・イラスト展示：5種の実物大パネルを製作し掲示すること。2.5m程度のマンボウ、2m程度のカクレマンボウ、3m程度のウシマンボウ、2m程度のヤリマンボウ、1m程度のクサビフグの順番で左から掲示すること。
- ・動画解説：高速で泳ぐクサビフグの動画（甲にて用意）を流す。21.5インチ程度のモニター1台（甲にて用意）。
- ・ハンズオン1：体重計に乗ることで、マンボウ、ウシマンボウ、クサビフグそれぞれの重さが自身の体重の何倍あるのかがわかるようなものを設置し、納品すること。（予備も用意する事）
- ・ハンズオン2：プロジェクター（甲にて用意）でマンボウとクサビフグの最高速度を体感できるような映像（甲にて用意）を流す。スクリーンは幅5m程度を想定。

○誕生マンボウの赤ん坊（イラスト解説、標本展示、ハンズオン）

内容：3億個の卵を生むと言う噂を検証した解説とマンボウの稚魚が金平糖のようにトゲトゲとした形をしていることを紹介する。

展示物：

- ・動画紹介：12 インチ程度のモニター（甲にて用意）でマンボウの稚魚の動画（甲にて用意）を流す。
- ・標本展示：マンボウの卵巣（直径約 20cm を 1～2 個）とマンボウの稚魚標本（1cm 程度 1 個、3cm 程度 1 個、10cm 程度 1 個、13cm 程度 1 個）・ヤリマンボウの稚魚標本（1cm 程度 1 個、5cm 程度 1 個）を展示する台を用意する事。標本台はできるだけ自由な角度から標本を観察可能な構造とすること。標本自体の損壊を防ぐため標本には直接触れられない仕組みとすること。
- ・ハンズオン 1：マンボウの稚魚が生き残りにくいことを表現できるハンズオンを製作し、納品すること。ゴールまで行けば成体にまで成長できたということとし、大半は途中で被食や環境要因により死亡し脱落したことがわかるようなものとする。
- ・ハンズオン 2：トゲトゲしていることで球状よりも抵抗が増え浮力が増すことが体感できるようなハンズオンを製作すること。

○マンボウ担当の回答（イラスト・動画解説、標本展示）

内容：海響館のマンボウの輸送から飼育までの紹介と、使用している餌や、自然界で食べている餌のなどを紹介する。またマンボウに給餌する時間も表記しておく。

展示物：

- ・動画解説：自然界でのマンボウの摂餌動画（甲にて用意）。40 インチ程度のモニター1台（甲にて用意）。
- ・標本展示：マンボウの餌（直径 5cm 程度）とマンボウの歯の乾燥標本（幅 7cm 程度）1つ、マンボウの咽頭歯のホルマリン標本（幅 6 cm程度）1つを展示する台を製作すること。標本台はできるだけ自由な角度から標本を観察可能な構造とすること。標本自体の損壊を防ぐため標本には直接触れられない仕組みとすること。マンボウの餌は毎日交換するため、交換しやすい作りかつ、衛生面に配慮すること。

- ・給餌時間：給餌時間は毎日変わるため、手書きできるような場所を用意すること。

○マンボウを堪能（イラスト・動画解説）

内容：マンボウをよく食べる地域やその食べ方などを紹介。

展示物：

- ・イラスト紹介：マンボウの解体図のイラストを用いて加食部位を解説する。
- ・動画解説：ラッパーがマンボウを調理している動画（甲にて用意）を流す。32インチ程度のモニター1台（甲にて用意）。

○マンボウの伝承（イラスト解説、イラスト展示）

内容：浮世絵など昔の美術作品などに描かれたマンボウの絵（甲にてデータを提供：A3程度）6点を展示する。

○マンボウ参上（イラスト解説、模型展示、標本展示）

内容：マンボウの名前の由来や、他国での呼び名を紹介し、マンボウの皮膚に触れる。

展示物：

- ・模型展示：直径 2.5m 程度のマンボウの全身模型を納品し展示する。模型は写真撮影スポットにもなるように、背景は臨場感のあるものを準備すること。自撮りスタンドを用意する事。
- ・標本展示：10×10cm 程度のマンボウの皮膚（甲にて準備）に触ることができるような仕掛けにすること。皮膚は期間中何度か交換する想定としているため、交換も容易にできるような作りによること。

○探求マンボウ（ラッパーによるイラスト解説）

内容：マンボウに関する最新の研究をイラストを用いて紹介する。またまだまだわからない事があるマンボウの面白さを伝える。

○研究者に聞く！マンボウの難問！（サイエンスカフェ開催告知・アンケート掲示）

内容：サイエンスカフェを開催する旨の掲示をする。サイエンスカフェではお客様からweb アンケート形式で疑問を募集し、研究者に答えて頂くイベントを企画しているため、アンケート募集をしているということと、そのサイト（甲にて用意）につながるQRコードを掲示すること。

○謝辞

内容：ご協力いただいた方々の名前を掲載する。

【会場設営に関する留意点】

- ・会場はイベントホールを中心に展示展開し、実際の設営を行うこと。
- ・会場出入口は、イルカプール側の扉及びキッズコーナー側の扉を使用し、お客様をスムーズに導くことができるよう、入室しやすいレイアウトを行うこと。
- ・出入口部分には、展示テーマに合い、且つアイキャッチ効果の強い造作物を施すこと。特別展タイトルは必ず冠すこと。出入口左右の扉が隠れる造作によること。

- ・会場内は、導線としてベビーカーや車椅子等が離合可能な幅（1.8 m 以上）を確保すること。
- ・ホール内にてイメージのあった BGM を CD で準備すること。ただし、著作権の問題もクリアにし、企画展開始の一週間前には納品すること。
- ・各ゾーンデザインを行うこと（会場レイアウトに合わせて考慮いただきたい）。
- ・各ゾーンにおいて展示物のレイアウトを行うこと。ゾーン内は、お客様が楽しめるよう配慮し、安全性を十分考慮すること。
- ・各ゾーンにおける展示物デザイン及び展示水槽の外観デザインは、会場内の展示内容に基づいたデザイン及び配色に留意すること。
- ・展示物への照明は、天井レールからスポットライトが使用できるが、必要に応じて、別照明を使用しても構わない。その際、照明の設置、角度調節を行うこと。
- ・水槽への注水や水槽からの排水ができるよう、床の注水排水設備を十分考慮すること。ただし甲との協議の上ではその限りでない。
- ・濾過水槽および冷却機等、飼育水配管の設置スペースを考慮すること。ただし甲との協議の上ではその限りでない。
- ・水槽動力源は、壁コンセントからとること。
- ・展示物を容易に観察できるよう、必要な照明器具などを準備すること。
- ・現場管理は必ず実施し、甲の担当者と密に連絡をとること。
- ・展示期間中も含めて、表装の凹凸や傷、その他ハンズオンを含めた展示物の破損部分は適正且つ速やかに補正または交換できるようにすること。
- ・管理経費等の縮減をはかり、それを示すこと。
- ・様々な来館者を想定し、ユニバーサルデザインを考慮したフォントやデザインとすること。
- ・設営は、会場内は 7 月 4 日（木）までに、出入口造作及び館内に設置する PR 用パネルの設置は 7 月 5 日（金）までにすべて完了させること。
- ・本企画展業務は、企画展終了後 1 週間以内での撤去をもって終了とする。

【その他の留意点】

- ・特別企画展内で使用する物品およびそれに連動するイベントで必要になる物品を各イベント実施 1 週間前までに製作又は購入し、納品すること。
- ・タイトルロゴ・イラストデザインを製作しタイトル看板を 1 枚（イベントホール入口に設置）必ず制作すること（デザイン含む）。またそのデータを共有、納品すること。
- ・PR 用パネル（導線案内兼ねる）のデータを制作し提出すること。
- ・広報宣伝用画像素材および広報用ポスター（B3 サイズ 800 枚、B2 サイズ 100 枚）、チラシ（A4 サイズ 8500 枚）を制作、印刷すること。デザインは、甲にてウェブプロモーション等での二次利用を行うことを前提として提案すること。ポスター、チラシは下関市内・北九州市内の保育園・幼稚園・小学校に送付すること。